

レジメン登録フォーマット

申請年月日	2020年1月6日		使用開始日																						
登録診療科	血液内科		申請医師	松永 一美		化学療法委員会承認年月	2020年 2月																		
レジメン名	A+CHP療法																								
疾患名	未治療CD30陽性末梢性T細胞リンパ腫																								
適応分類	適応の備考																								
1コース日数	21 日間		総コース数	8 コース		催吐性リスク	中等度																		
抗がん剤投与量・投与日 ドキシゾリン50mg/m ² 、エンドキサン750mg/m ² 、アドセトリス1.8mg/kg 各day1、ブレドニン錠100mg/body day1-5																									
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)																									
投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	グラニセトロン注ハッカ 1mg/50mL	1 本 / body	30 分	●																				
	点滴静注		/																						
2	主ルート	生食100mL ドキシゾリン注	1 本 / body 50 mg / m ²	30 分	●																				
	点滴静注		/																						
総投与量は500mg/m ² まで。																									
3	主ルート	生食500mL エンドキサン注	1 本 / body 750 mg / m ²	2 時間	●																				
	点滴静注		/																						
閉鎖式システム使用																									
4	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																				
	点滴静注		/																						
5	主ルート	生食100mL アドセトリス	1 本 / body 1.8 mg / kg	30 分	●																				
	点滴静注		/																						
注射液100mL																									
6	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																				
	点滴静注		/																						
7	経口投与	ブレドニン錠5mg	20 錠 / body		●	●	●	●	●																
	医師の指示通り		/																						

【投与上の注意】

- ・ブレドニン錠を服用するので、中等度催吐性に基づくデキサメタゾンの投与はしないこととする。
- ・アドセトリス: 体重が100kgを超える場合は100kgとして計算する
- ・アドセトリス: 1バイアルに注射液10.5mLを加えると濃度5mg/mLの溶解液になり、最終濃度が0.4~1.2mg/mLとなるように希釈する
- ・アドセトリス: 体重83.4kgを超える場合は溶解液を注射液100mLとする
- ・アドセトリス: 体重85kgを超える場合は希釈液を生食250mLとする

【減量基準】

末梢神経障害

Grade ^(注1)	処置
Grade1 (機能障害はなく、知覚障害、反射消失のみ)	同一用法・用量で、投与を継続する。
Grade2 (機能障害はあるが、日常生活に支障はない)	感覚ニューロパチー: 同一用法・用量で、投与を継続する。
	運動ニューロパチー: 1.2mg/kgに減量して投与を継続する。
Grade3 (日常生活に支障がある)	感覚ニューロパチー: 1.2mg/kgに減量して投与を継続する。
	運動ニューロパチー: 投与中止する。
Grade4 (障害をきたす感覚ニューロパチー、生命を脅かす又は麻痺をきたす運動ニューロパチー)	投与中止する。

好中球減少症

好中球数	処置
1,000/mm ³ 以上	同一用法・用量で、投与を継続する。
1,000/mm ³ 未満	ベースライン又は1,000/mm ³ 以上に回復するまで休薬する。